

『回復期外傷性脊髄損傷者における受傷時の Multimorbidity が転帰先に及ぼす影響』

【目的】脊髄損傷者様の受傷時年齢は高齢化が進み、Multimorbidity(多疾患併存)といわれる様々な疾患が併発している状態が増加しており、その影響が無視できない状況となっています。しかし、脊髄損傷者様における受傷時の Multimorbidity が転帰先に与える影響は十分に検討されていません。そこで本研究では、当院の回復期病棟に入院した脊髄損傷者様を対象に、受傷時の Multimorbidity が転帰先に与える影響を分析することを目的とします。

【期間】2025 年 4 月 22 日～2025 年 11 月 1 日

【方法】

＜対象となる患者さん＞

2012 年 5 月 1 日～2024 年 12 月 31 日までに当院の回復期病棟に入院あるいは退院した外傷性脊髄損傷者様を対象とします。

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：電子カルテ情報

情報：基本情報(年齢、性別、家族構成、住環境、居住地域、社会資源)、損傷高位、麻痺重症度(Frankel 分類)、歩行能力(WISCIII)、受傷時の併存疾患数(CCI)、併存疾患の種類(心血管系、代謝系など 13 項目に分類)、脊髄損傷後の合併症数、mRS、転帰先(自宅、自宅以外)等

◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

〒573-8511 大阪府枚方市星丘 4-8-1

TEL (072) 840-2641 (代)

所属・職名 リハビリテーション部・理学療法士

研究責任者 中尾 修平